

人と自然との共生

建築都市工学部
都市デザイン工学科
教授

内田 泰三



研究シーズの紹介

本研究室では、自然環境の保護・保全・再生（復元）・修復・創出に資する手法について、動植物、とくに植物の生理生態から研究を行っています。

たとえば、近年では、下記の研究を行政や地域住民などと実施しています。

- 外来植物の抑制（奈良市・帯広市・熊本市）
- 崩壊斜面の植物による侵食防止（鹿児島市）

- 廃道における野生動物の利用実態（日田市）
- 地域環境資源の利活用（阿蘇市）
- 街路樹と都市の生物多様性（福岡市）
- 人口湿地の創出と野生動物の利用（福岡市）
- 強害雑草クズの生物的抑制管理（福岡市）
- 里山管理と地域活性（新宮町）

など



サステイナブルな
社会を目指して

- 都市/農村計画・自然再生・環境教育・生物多様性・外来種問題



期待される活用シーン

- こどもたちに自然の大切さを伝えたい



自然教室の開催（立花山植物観察会・小学校プール清掃&ヤゴ採り教室・唐原川魚とり教室など）



- 自然環境との調和を目指したまちづくりを展開したい



風土に根ざしたグリーンインフラストラクチャーを提案



その他の研究テーマ

- 防災・減災に配慮した国土整備